

2013年11月21日
慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学 井庭崇研究室 パターン・ランゲージを用いた新しいタイプの Web サービス 「The 4th Place」を開設

慶應義塾大学 SFC 研究所 井庭崇研究室は、パターン・ランゲージを用いた新しいタイプの Web サービス「The 4th Place ~自分をかたちづくる第四の場所~」(<http://www.the4thplace.jp>)を開設します。このサービスでは、“いきいきと美しく生きる”ためのパターン・ランゲージである「Generative Beauty Patterns」(ジェネレイティブ・ビューティー・パターン)にもとづいて、日頃の出来事やそのときの思いを写真と言葉で表現し、公開する仕組みが提供されます。いわゆる SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは異なり、パターンにもとづく作品のつながりのネットワークが構成されていく点に特徴がある。本サービスは、2013年11月22・23日に東京ミッドタウンで開催される慶應義塾大学 SFC オープン・リサーチ・フォーラム(ORF)に合わせて開始され(版)、ORF 会場ではその仕組みを体験できるブースも設置されます。ぜひご取材ください。

The 4th Place とは

「The 4th Place ~自分をかたちづくる第四の場所~」(<http://www.the4thplace.jp>)は、身の回りの印象的な出来事やそのときの思いを写真と言葉で綴るための Web サービスです。ユーザーは、「Generative Beauty Patterns」(ジェネレイティブ・ビューティー・パターン)*1 のパターンにもとづいて、自分の経験を表現した「作品」をつくります。

つくった作品は、「ウォール」(Wall)に貼られていきます。ウォールでは、自分がつくった作品だけでなく、他の人がつくった作品を見ることもでき、それからインスピレーションを得て、関連した作品をつくることもできます。

作品をつくる際に参照する Generative Beauty Patterns は、“いきいきと美しく生きる”ためのパターン・ランゲージ*2 です。そのようなパターンにもとづいて “いきいきと美しく生きる”ことを実感し、その質感を自分なりに表現することは、“いきいきと美しく生きる”ことのセンス(感性)を磨くことにつながります。「The 4th Place」では、そのような「自分をかたちづくる場所」を提供します*3。



*1 Generative Beauty Patterns とは

「The 4th Place」で用いられる Generative Beauty Patterns は、“いきいきと美しく生きる”ためのヒントを記述したパターン・ランゲージです。それは、直接的で具体的な「答え」を与えるのではなく、読む人ごとに自分の状況や個性を踏まえながら、自分なりの“いきいきと美しく生きる”術を考える支援をします。

Generative Beauty Patterns には 48 個のパターンが定義されており、一つひとつのパターンには、パターン名、Context(状況)、Problem(よくある問題)、Solution(解決のヒント)が書かれています。例えば、No.36「いろんな自分らしさ」というパターンでは、「自分のある一面だけが強調されて、定着してしまっている」という Context(状況)に対し、「それに当てはまらない印象を与えるようなことができなくなり、気持ちに無理が生じてしまう」という Problem(よくある問題)が生じます。この問題の Solution(解決のヒント)は、「周りのイメージにとらわれず、自分の持っているいろんな面を出していく」というものです。

このような Generative Beauty Patterns によって、一人ひとりが「いきいきと美しく生きる」ために大切だけれども日頃忘れがちなことを思い出したり、自分にはなかった発想を得たりする機会を創出します。国際学会でも高い評価を受けているこの Generative Beauty Patterns を、さらに各人の生活・人生に活かしていくきっかけを提供するために、「The 4th Place」が開発されました。



*2 パターン・ランゲージとは

パターン・ランゲージは、よいデザインを生み出すための実践知を記述・共有する方法です。その方法の生みの親である建築家クリストファー・アレグザンダーは、町や建物に繰り返し現れる関係性を「パターン」と呼び、それを「ランゲージ」(言語)として共有する方法として考案しました。彼が目指したのは、誰もがデザインのプロセスに参加できる方法でした。その後、パターン・ランゲージの方法は、ソフトウェア開発や創造活動一般を支援する方法として広がってきました。

慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇准教授は、パターン・ランゲージの方法を創造的な人間行為の支援に応用し、国内外で先導的な立場で研究・実践を進めています。これまでに制作した主なものとしては、“いきいきと美しく生きる”ための「Generative Beauty Patterns」や、創造的な学びを行うための「ラーニング・パターン」、創造的なコラボレーションを実現するための「コラボレーション・パターン」、創造的なプレゼンテーションをつくるための「プレゼンテーション・パターン」などがあります。このうち、プレゼンテーション・パターンは書籍としても出版されており、本年度のグッドデザイン賞を受賞しています。

*3 「The 4th Place」(第四の場所)というコンセプトについて

新しいWeb サービスをつくるにあたり、それに「The 4th Place」(第四の場所)という名をつけたのは、これまでとは異なる新しい「場」を提案するためです。

20 年ほど前、社会学者のレイ・オルデンバーグは、「カフェ」や「バー」などの交流の場を「第三の場所」(サード・プレイス)と呼びました。家という「第一の場所」とも、学校・職場という「第二の場所」とも異なる、「第三の場所」としてカフェやバーなどの交流の場に注目しました。

たしかにこれらの場は大切なのですが、自分らしく生きるためには、家でもなく、学校・職場でもなく、交流のための場でもない、「自分をかたちづくる場所」が必要だと私たちは考え、それを「第四の場所」と位置づけました。忙しい日常から離れ、ひとりで過ごし、心で感じたことを大切に、静かな時間が流れる「隠

れ家」のような場所です。

かつて、世界で愛される作品を生み出した小説家や劇作家、作曲家たちの多くは、生活のための家とは別に、山小屋などの「隠れ家」を持ち、ひとりで思索し、作品をつくったと言われていました。同じように、私たちにも「いきいきと美しく生きる”ために「自分をかたちづくる場所」が必要ではないでしょうか。それは、リアルな場であることもあれば、ヴァーチャルな場であることもあるでしょう。大切なのは、自分を見つめ直し、自分をかたちづくるために、静かで落ち着いた場であることです。

以上が、本サービスが「The 4th Place」(第四の場所)と名づけられた理由です。



「The 4th Place」 サイト: <http://www.the4thplace.jp/> (11月22日から 版サービスを開始)

「The 4th Place」 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/the4thplace.jp>

2013年11月22日(金)・23日(土・祝)に東京ミッドタウンで行われる「慶應義塾大学 SFC Open Research Forum (ORF)」にて、本サービスをリアルに体験できるコーナーが設置されます(D12 ブース: Generative Beauty Project)。ORF についての詳細は、<http://orf.sfc.keio.ac.jp/> をご覧ください。



慶應義塾大学 井庭崇研究室

Generative Beauty Project

金指 美菜 (Chief Designer)

山崎 光司 (Chief Engineer)

櫻井 理央 (Engineer)

佐々木 結加 (Designer)

木村 紀彦 (Engineer)

井庭 崇 (Producer)

*ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

*本リリースは新聞各紙社会部、web ニュース等に送信させていただいております。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

慶應義塾大学 井庭崇研究室 Generative Beauty Project

E-mail: ilab-beauty@sfc.keio.ac.jp

ウェブサイト URL: <http://www.the4thplace.org/> (11月22日から 版サービスを開始)

Facebook URL: <http://www.facebook.com/the4thplace.jp>

慶應義塾大学湘南藤沢研究支援センター 河越、西村

〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322

TEL: 0466-49-3436 / FAX: 0466-49-3594 / E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp

ORF 開催準備日(21日)、開催日(22日・23日)につきましては、03-3470-1206 までご連絡ください。